

令和 5 年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」自己評価表

センターの基本的な役割[春日部市市民活動センター運営方針 P9～]

- 市民活動推進のための総合的・中核的拠点
- 「新しい公共」の担い手を育成する拠点
- さまざまな担い手が協働する場をつくる拠点



市民活動センター「6つの機能」	「6つの機能」を実践するための 「4つのサービス」 (1) ひろめる (2) ささえる (3) つなげる (4) はたらく	成果の説明
① 市民活動の窓口、相談、支援機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 団体立ち上げ支援 (2) 団体運営支援	年間を通して専門的知見を有した2名のアドバイザーが適宜相談に対応し団体支援を実施しているが、相談後のフォローが出来ていないケースもあり、必要に応じて継続的な支援を促す仕組みが必要である。
② 情報収集、提供、発信機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 広報活動支援	より見やすく使いやすいホームページにリニューアルした事で、閲覧者数のほか、情報配信件数も増加したが、利用団体が固定化しているため、さらなる工夫が必要である。
③ 交流、ネットワーク機能	(3) 自発的な出会いと交流の推進	団体交流会や利用者会議を通じて登録団体同士が交流するきっかけづくりを図っているが、日常的にお互いの活動内容を知り合う機会が少ないため、今後は自発的につながるためのサポートが求められている。
④ 活動拠点及び事務所緒機能	(2) 事務所機能の提供 (4) 公正かつ透明な施設の運営	利用者会議や利用者アンケートを通じて、定期的に利用者の声を拾い、センターの運営に生かしているが、活動拠点としての貸事務所の利用がない状況が続いているため、引き続き団体のニーズ把握が必要である。
⑤ 市民活動に関する学習、研修機能	(1) 市民活動の啓発、推進に関する活動 (2) 活動実践の場の提供	周年記念イベントや月間イベント等で登録団体の活動の場を提供し、同時に市民への発信にも努めている。月間イベントには特に力を入れ、実施件数が昨年の4件から12件へと急増した。
⑥ マッチングと協働支援の機能	(3) コーディネート、協働の支援 (4) 市民活動の基盤整備	企業とNPO法人等でワークショップを実施し、市民活動団体と繋がるきっかけをつくり、19のマッチングができた。協働事業が継続的なものになるように、適切なフォローアップを行っていく。

総 括

令和5年度は、本格的に活動を再開する団体が増え、交流・ミーティングスペースの利用制限も解除されました。団体支援・施設運営の両面において、コロナ後のあり方を試行錯誤した1年となりました。市民活動の中核拠点として、再開の一步を踏み出しやすいような場の提供や、活動の成果を市民の皆様へ届けるための事業運営(月間イベント、周年記念イベント等)には特に力を注ぎました。また、セキュリティや見やすさの向上を目的にホームページのリニューアルを行い、市民活動の情報発信機能を強化しました。一方で、団体の高齢化への対応や市民活動の新たな活動世代の育成等については、必ずしも効果的な取り組みができていない現状であり、団体の支援ニーズに向き合いつつ、地域の課題をともに学び解決していけるような取り組みが必要です。次年度も引き続き利用者の皆様とともに協働の機会をつくるのが大切だと考えています。